

令和3年度の主な事業報告

社会福祉法人多聞福祉会

令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）事業につき、
その概要を以下のとおりご報告いたします。

【法人本部】

I. 法人事業の沿革

(1) 規程の変更

令和3年	4月	1日施行	「就業規則」「給与・賞与規程」一部改正
令和3年	4月	1日施行	「経理規程」一部改正
令和3年	4月	1日施行	特別養護老人ホーム「運営規程」一部改正
令和3年	7月	1日施行	「給与・賞与規程」一部改正
令和4年	2月	1日施行	「給与・賞与規程」全面改正

(2) 役員会

評議員選任・解任委員会

開催日 令和3年4月17日

(議 事)

- ・評議員推薦候補者の選任決定について

理事会

決議日 令和3年7月5日（新型コロナウイルス感染症の拡大防止により書面決議）

(決議事項)

- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）及び令和2年度決算報告（案）承認の件
- 第2号議案 「経理規程」「運営規程」について条文追加及び変更の承認の件
- 第3号議案 定時評議員会の招集の件

開催日 令和3年7月17日

(報告事項)

- ・広川町新型コロナウイルス感染症対応高齢者福祉施設等従事者慰労金交付の件
- ・評議員選任・解任委員会において新評議員候補者の選任決定の件
- ・給食委託業者の変更の件

(決議事項)

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選定について

決議日 令和4年3月26日（新型コロナウイルス感染症の拡大防止により書面決議）

（報告事項）

- ・建物附属設備更新工事（灯油タンク配管更新・高架水槽更新）の件
- ・令和3年度 指定介護老人福祉設等実地指導の結果について
- ・令和3年度 福岡県 ICT 導入支援事業費補助金交付決定の件
- ・広川町新型コロナウイルス感染症対応高齢者福祉施設等従事者慰労金（2回目）の件
- ・緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金交付決定の件

（決議事項）

- 第1号議案 令和3年度補正予算（案）についての承認の件
- 第2号議案 令和4年度事業計画（案）についての承認の件
- 第3号議案 令和4年度収支予算（案）についての承認の件
- 第4号議案 「就業規則」「育児・介護休業等規程」一部改正についての承認の件
- 第5号議案 「給与・賞与規程」「再雇用職員規程」全面改正についての承認の件
- 第6号議案 特養・短期入所「運営規程」一部変更についての承認の件

評議員会

決議日 令和3年7月17日（新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書面審議）

（報告事項）

- ・令和2年度事業報告の件
- ・社会福祉充実残額についての報告

（決議事項）

- 第1号議案 令和2年度決算報告（案）についての承認の件
- 第2号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任についての承認の件

監事会

令和年3年6月25日（新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制により書類送付）

令和2年度の理事の業務執行の状況及び法人の財産状況についての監査

（3）地域との交流

- ・ふれあい祭りは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年に引き続き中止になりました。

（4）防災訓練

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| ・ユニット型特養 | 夜間出火想定（総合訓練） | 令和3年 7月28日実施 |
| ・緊急連絡伝達演習 | 地震想定（一部訓練） | 令和3年10月22日実施 |
| ・グループホーム | 夜間出火想定（総合訓練） | 令和3年11月24日実施 |
| ・特養 | 夜間出火想定（総合訓練） | 令和4年 4月20日実施 |

（新型コロナウイルス感染症拡大防止により3月実施）

（5）研修

- ・福岡県公安委員会

〈安全運転管理者講習〉 安全運転管理者1名 令和3年 7月16日

○職員スキルアップ研修 全職員WEB研修実施

・全員共通必須研修 (メディパスアカデミー介護)

- 令和3年 4月 接遇に関する研修
5月 高齢者・老化の理解に関する研修
6月 認知症及び認知症ケアに関する研修
7月 プライバシー保護の取組に関する研修
8月 高齢者虐待防止に関する研修
9月 事故発生又は再発防止に関する研修
10月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
11月 身体拘束の排除の為の取組に関する研修
12月 褥瘡予防に関する研修
- 令和4年 1月 緊急時の対応に関する研修・チームコミュニケーションに関する研修
2月 ターミナルケアに関する研修
3月 倫理及び法令遵守に関する研修

○職員キャリアパスのための資格取得研修

- ・認知症介護基礎研修 福岡県社会福祉協議会
介護職員 2名 講義 令和3年 6月 1日 (オンライン)
eラーニングシステム運営事務局
介護職員 1名 講義 令和3年11月 7日 (オンライン)
- ・喀痰吸引等研修 (株) プレゼンスメディカル
介護福祉士2名 講義 令和3年10月20日
介護職員 1名 ~令和3年12月 8日 (オンライン)
演習 令和3年12月10日
~令和3年12月24日 (オンライン)
- ・ユニットリーダー研修 全国個室ユニット型施設推進協議会
介護福祉士1名 講義 令和3年10月14日
~令和3年10月15日 (オンライン)
- ・介護施設における安全対策担当者養成研修 全国老人福祉施設協議会
介護福祉士2名 講義 令和3年7月24日・9月23日

○介護事業者における業務継続計画 (BCP) 作成についての研修

- ・社会福祉法人善光会 サンタフェ総合研究所
BCP入門セミナー 介護福祉士2名 講義 令和3年 9月10日 (オンライン)
感染症BCPに関するセミナー 施設長
介護福祉士1名 講義 令和3年10月 3日 (オンライン)
- ・あいおいニッセイ同和損保
BCP作成研修 感染症編 介護福祉士1名 講義 令和3年10月26日 (オンライン)

【特別養護老人ホーム彌栄苑】【短期入所生活介護】

I. 事業所の沿革

(1) 固定資産取得

〈建物附属設備〉

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| ・ 灯油タンク・配管更新工事 | 大坪建設株式会社 | |
| | 令和3年 8月25日取得 | ¥2,794,000 |
| ・ 高架水槽更新工事 | 大坪建設株式会社 | |
| | 令和3年 8月25日取得 | ¥6,600,000 |

〈器具及び備品〉

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| ・ 居室防災カーテン | キングラン九州株式会社 | |
| | 令和3年 8月 1日取得 | ¥3,960,000 |

〈ソフトウェア〉

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| ・ NEXTほのぼの基本システム | リコージャパン株式会社 | |
| | 令和3年 8月 1日取得 | ¥3,026,400 |

(2) 大規模修繕

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| ・ 1階 談話室改修工事 | 大坪建設株式会社 | |
| | 令和3年 8月25日 | ¥1,400,300 |

(3) 地域との交流

以下の交流行事は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全て中止になりました。

- ・ 斗和保育園による誕生会慰問、七夕の慰問、歌と踊りの慰問、クリスマス訪問

(4) 新型コロナウイルス感染症について

令和3年5月4日～5月27日迄に職員8名・利用者様22名の合計30名が陽性となり集団感染となりました。福岡県南筑後保健福祉環境事務所より指導して頂き、早期の入院や施設内での隔離実施による介護が実践できました。その後、全ての濃厚接触者の観察期間が終了し、所管保健所より安全確認がとれたものとして令和3年6月10日をもって終息と判断されました。

II. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

- ・ 98%を目標としていた入所率は95.2%で、入所稼働率は、88.9%でした。
月間平均入院者数は5人で、年間の平均要介護度は3.7でした。5月に新型コロナウイルス感染症で集団感染になったことにより入院者数が増加したことと、その後の風評被害の影響もあり入所率が減少しました。
- ・ 短期入所生活介護（ショートステイ）の稼働率は平均61.5%で、目標の75.0%を達成できませんでした。原因は新型コロナウイルス感染症により利用を控えられたことが影響しております。ショートステイは、御家族の介護負担軽減を主目的とする事業であることから今後も積極的に新規利用の受け入れを行います。

②各種加算

- ・栄養マネジメント加算
- ・経口維持加算（対象者）
- ・療養食加算（対象者）
- ・日常生活継続支援加算
- ・夜勤職員配置加算
- ・看護体制加算
- ・科学的介護加算（新規加算）

科学的に裏付けが出来るサービスの状況を厚生労働省の科学的情報システムへデータ提出とフィードバックの活用により、PDCA サイクルの推進とケアの向上を図る取組を評価する加算で 2021 年の介護報酬改定にて新たに創設された加算を取得しました。

- ・褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ（新規加算）

ア、利用者様ごとに褥瘡の発生と関連のあるリスクについて入所時に評価するとともに3月に1回評価を行い、結果等の情報を厚生労働省に提出し、褥瘡管理の実施にあたり当該情報、その他褥瘡管理の適切かつ有効な実施に必要な情報を活用します。

イ、アの評価の結果、褥瘡が発生するリスクがあるとされた利用者様ごとに医師、看護師、管理栄養士、ケアマネージャーその他の職種の者が共同して褥瘡管理に関する褥瘡ケア計画を作成します。

ウ、利用者様ごとの褥瘡ケア計画に従い褥瘡管理を実施するとともに、その管理の内容や利用者様の状態を定期的に記録します。

エ、アの評価に基づき3月に1回以上、利用者様ごとに褥瘡ケア計画を見直します。

オ、評価の結果、入所時に褥瘡が発生するリスクがあるとされた利用者様について褥瘡の発生がない場合は、褥瘡マネジメント加算Ⅱを算定しました。

- ・安全対策体制加算（新規加算）

安全対策に係る外部の研修を受講し、組織的に安全対策を実施する体制を備えることで算定しました。

③地域に向けての発信

- ・ホームページサイトの訪問数が14,684件でホームページ閲覧数が30,100件でした。ページの閲覧数が大幅に増えた主な要因は、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生したことでテレビや新聞で取り上げられたことにより検索されたものと考えられます。

(2) 処遇計画（ケアプラン）について

- ・施設の理念を目標に、利用者様の個性を尊重し、利用者様・職員共に優しさに溢れる暮らしの場の中で心地よい支援の提供に努めました。
- ・利用者様に対して職員の担当制を推進しケアプランに基づいた利用者様一人一人にあった介護サービスの提供に努めました。
- ・利用者様・御家族から信頼され満足していただけるサービスの提供に努めました。

(3) OJT活動について

- ・令和3年度は、新卒の職員が4名入職しました。指導システム・指導マニュアルは職員全員への周知徹底を図り、統一した指導を行うよう努めました。
- ・指導職員の質の向上・意識向上に努めました。
- ・定期的なオリエンテーションを行い全職員の質の向上・意欲向上に努めました。
「出来る」「出来ない」を明確化し、統一した処遇を行うよう努めました。

(4) サービスの質・マナーの向上

・支援技術の向上や援助・マナーに関する知識・質の向上を図るため研修計画に則り研修を行いました。研修で得た知識は全職員で共有し実施していききました。

(5) 生活支援サービスの充実

- ・利用者様・御家族・多職種で話し合い作成したサービス計画に基づき、利用者様一人一人にあった生活支援に努めました。
- ・現有能力を大切に自立した生活への支援を心掛けると共に、心身の状態観察に努め変化に応じて支援方法の変更・工夫を行っていききました。
- ・利用者様の意向を尊重しながらの支援に努めました。
- ・利用者様・職員共に、より安心・安全な介助ができるよう介護リフトの活用を推進しました。

食 事

・令和3年7月1日より給食委託業者を変更しました。これまでは、苑内で一から調理を行っていましたが、完全調理済み食品に切り替えました。安定した味付けやソフト食（嚥下対応食）を取り入れることにより衛生的で安心・安全な食事提供ができました。

- ・栄養、疾病、身体状況に配慮した食事形態を提供しました。

主食・・・常食、二炊き、粥、ミキサー粥

副食・・・常食、軟菜、やわらか刻み、嚥下対応

汁物・・・常食、トロミ、嚥下対応

・利用者様の楽しみのひとつであり喜びであることを認識し、委託業者と連携を図りながら季節感のある食事や行事食の提供を行いました。

- ・嗜好調査を実施し、メインの選択（肉料理・魚料理）ができる機会を設けていききました。

入 浴

・プライバシーの確保に努めながら、くつろげる雰囲気の中でゆっくり入浴していただけるよう支援を行いました。

- ・利用者様の状態に合わせて一般浴・中間浴・特浴を用意し、安心・安全な入浴を行いました。
- ・週に2回の入浴を実施し、体調不良時には清拭を行って清潔保持に努めました。

排 泄

- ・定時の排泄介助と共に、利用者様の排泄サイクルに合わせた随時の排泄介助を行いました。
- ・排泄チェックを行い、利用者様一人一人の排泄サイクルの把握に努め、利用者様一人一人に合ったパンツ・オムツ・パッドの検討を行い、オムツ外しへ向けて積極的に取り組みました。
- ・排泄委員会を中心に定期的なオムツ研修を行い、より個別ケアに向けた活動を実施しました。

(6) 健康維持

・利用者様の心身の状態を的確に把握し、嘱託医師や協力病院との連携を密にし、適切に対応しました。

- ・年に1回、定期健康診断を行い利用者様の健康管理に努めました。
- ・褥瘡の早期発見・早期治療に努めました。
- ・感染症に対する予防・対策を検討し早めに対応していききました。
- ・サービス計画に基づき、利用者様の心身の状況に応じて日常生活を営むために必要な機能を

維持できるように努めました。

- ・介護職員による週2回のゼロプロ式口腔ケアの継続により誤嚥性肺炎の予防に努めました。

(7) 教養・娯楽

・新型コロナウイルス感染症の影響により、以前のような外出行事や慰問を迎え入れての室内行事はできませんでしたが、笑顔と楽しみのある生活が送れるように四季折々の行事を大切に、利用者様一人一人が、それぞれの状態に応じて参加意識を持つことができる活動を工夫しました。

(8) 御家族との連携

- ・対面での面会が制限される中、ガラス越しでの面会ができるようにしました。
- ・利用者様の状態報告や体調不良時の連絡等を面会制限以前よりこまめに行い、御家族との信頼関係が深まるよう努めました。

(9) 環境整備

- ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動を通じて、安全・快適に生活ができるよう施設の環境づくりに努めるとともにより一層の苑内消毒の強化に努めました。
- ・施設内の設備や福祉用具は定期的に点検や修理を行い、利用者様の生活に支障がないように努めました。

【彌栄苑デイサービスセンター】

I. 事業所の概要

- | | | |
|--------------|------------------------------------|--------------------|
| (1) 定員 | 20名 | |
| (2) 営業日 | 月曜日～土曜日 | |
| (3) サービス提供時間 | 通所介護 9:40～17:45
総合事業 9:40～15:30 | |
| (4) 加算 | | |
| 〈通所介護〉 | ・個別機能訓練加算 | ・科学的介護推進体制加算（新規加算） |
| 〈総合事業〉 | ・運動器機能向上加算 | ・科学的介護推進体制加算（新規加算） |

II. 事業所の沿革

- | | | |
|----------------|------------------|-------------------|
| (1) 設置・設備資金借入金 | 独立行政法人福祉医療機構 | |
| 令和3年 5月10日 | 第30次借入金元金・利息償還実施 | [¥1,816,320] |
| 令和3年11月10日 | 第31次借入金 | 利息償還実施 [¥ 42,240] |

(2) 地域との交流

- ・広川町地域介護予防活動支援講師派遣事業
介護福祉士（シナプソロジーインストラクター） 2名（登録職員）
派遣場所 健康教室 いこっと

実施日	令和3年 4月14日	
	令和3年10月13日	令和3年10月27日
	令和3年11月10日	令和3年11月24日
	令和3年12月22日	令和4年 3月23日
・ 広川町老人クラブ サロン活動における交流会に参加（シナプソロジーの実施）		
	吉里公民館	令和3年 9月10日
	太田公民館	令和3年10月20日
	久泉公民館	令和3年11月22日
	太田公民館	令和3年12月 3日
・ 介護サポーターへの脳活性プログラム		
	はなやぎの里	令和3年12月20日

（3）新型コロナウイルス感染症での影響について

令和3年5月4日～6月10日まで特別養護老人ホーム及びグループホームにおいて、新型コロナウイルスによる集団感染（クラスター）が発生しました。その影響を受けて、デイサービスセンターは5月17日～5月31日までサービスを一時停止しました。その間、クラスターの発生している事業所に応援したりデイサービスセンター内の清掃・消毒を行ったりしました。また、6月1日～6月12日までは、9：45～13：45までの時短営業を行いました。

（4）収入の確保

新型コロナウイルス感染症の影響でサービスの一時停止や時短営業及び緊急事態宣言中の利用者様のサービス控えなどにより年間の稼働率は、39%で今後に課題の残る結果となりました。

Ⅲ. 日 課

（1）送 迎

可能な限り、御家族や利用者様の希望に沿った時間に送迎ができるように配車等の計画を立てました。感染症予防として職員は、マスク着用の徹底、車内はパーテーションの設置をしました。また利用者様には、体温測定、手指消毒を行ってから乗車して頂きました。来苑されたら再び手指消毒とうがいをして頂いています。

（2）入 浴

入浴前にバイタルチェックを実施して特変の無い場合は、利用者様の着脱を見守りながら一部介助を行いました。入浴のための一連動作は、利用者様の残存機能を活用したうえで、ご自身で洗身、洗髪をして頂きました。

皮膚観察を行い、皮膚の異常があれば御家族に報告を行いました。

（3）排 泄

尿意・便意の訴えの無い利用者様には、排泄感覚を取り戻すことができるようトイレへの誘導の声掛けと排泄間隔の把握に努めました。

(4) 食 事

昼食を配膳する前にテーブルの消毒を行い、利用者様には手指消毒をして頂いています。口腔機能の維持を図るため、食事前に耳下腺マッサージやパタカラ体操を実施しました。また昼食内容に関しての嗜好調査を行い、結果を管理栄養士に報告して利用者様の嚥下状態に応じて食事形態の変更等を行いました。食事の感想や御意見等を給食委員会で報告し給食委託会社より改善を図っていただきました。

15時には、おやつを提供していますがレクリエーションを兼ねたおやつ作りをすることもあり、感染症予防のために必ず手指消毒とうがいをして頂きました。

(5) レクリエーション

午前中は個人で出来るレクリエーション（作品作り、計算問題、間違い探し、漢字の書き取り等）に取り組んで頂きました。午後からは集団で出来るゲーム（玉入れ、ボーリング、ビンゴ、トランプ等）に取り組んで頂きました。

(6) 個別機能訓練

午前中はリズム体操や上下肢運動に取り組んで頂きました。午後からは、リハビリ室内のプーリーやペダル漕ぎ、バイオステップ、ボール体操、ゴム運動、平行棒訓練等に取り組んで頂きました。また、施設内の歩行訓練や階段昇降等も本人の体調等を観察しながら取り組んで頂きました。取り組んで頂いた結果については、毎月1回、握力や歩行状態の確認を行っています。

(7) シナプソロジー

個別や集団でのシナプソロジーを行い、脳活性化の刺激を受けていただきました。戸惑いや混乱したときには、利用者様の笑顔が見られました。利用者様同士での触れ合いとして実施できました。

(8) 年間行事

新型コロナウイルス感染症による蔓延防止宣言や緊急事態宣言の期間中は、自粛するために苑内におけるレクリエーションがほとんどで、外出によるレクリエーションが出来ませんでした。

【彌栄苑グループホーム】

I. 事業所の沿革

(1) 外部評価実施

委託先 福岡県社会福祉福祉協議会

実施日 令和3年12月14日

評価結果 利用者様を尊重する姿勢を保持しつつ、利用者様に家事を分担して頂き家庭的で楽しく過ごせることを目指している。また、クリニックが隣接していることや信頼感のある管理者、職員が存在が利用者様や御家族に安心感を与えており概ね良好と評価されました。

(2) 収入の確保

退去者 令和3年 5月22日（要介護3 女性）

令和3年 6月 1日（要介護4 男性）

	令和3年	7月31日	(要介護4)	女性)
	令和4年	3月10日	(要介護1)	男性)
入居者	令和3年	6月19日	(要介護1)	男性)
	令和3年	7月22日	(要介護1)	男性)
	令和3年	11月9日	(要介護4)	女性)
	令和4年	3月27日	(要介護2)	男性)

新型コロナウイルス感染症の影響により入退居及び入院者が多く入居の稼働率は94.2%でした。
科学的介護推進体制加算（新規加算）を取得しました。

（3）新型コロナウイルス感染症について

特別養護老人ホーム彌栄苑の集団感染とは別に令和3年5月15日～5月24日迄に職員3名と入居者4名で合わせて7名の方が陽性となり集団感染（クラスター）となりました。

（4）運営推進会議・家族会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（5）地域との交流

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年に引き続き中止となりました。

II. 処 遇

（1）生活支援について

- ・月1回の職員会議にて、利用者様一人一人のカンファレンスを行い職員同士の情報共有に努めました。
- ・日常生活の中で可能な限り家事等を行って頂き、ADLの維持に努めてメリハリのある生活を心掛け生活意欲の低下防止に努めました。
- ・食事に関しては、日々の食事状況を観察することで常態に応じて食事形態の変更を行い安心して安全な食事ができる環境づくりに努めました。
- ・排泄は、利用者様の日々の状況を把握して排便のリズムをつかみトイレへの誘導や声かけを行いました。
- ・利用者様の状態に合わせて苑内の散歩等を行い、個別でのケアに努めました。また利用者様全員で体操やストレッチを行い、身体機能が維持向上するように努めました。

（2）健康維持

- ・毎朝、バイタルサインの確認を行い健康状態の把握に努めました。
- ・体調の変化や受診をする際は御家族へ連絡を行い、その都度状況の説明をすることで御家族との連携に努めました。
- ・脱水を防止するために、こまめに水分補給を行い脱水予防に努めました。
- ・「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」により職員が口腔ケアセミナーを受講し、利用者様の口腔ケアの充実を図りました。

(3) レクリエーション

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出行事は出来ませんでしたが、少人数に分かれて施設近くの公園などの散歩を実施しました。
- ・苑内では、季節に合った行事や食事会、誕生会等を実施することが出来ました。

(4) 安全管理

- ・転倒や服薬に関してのヒヤリハットが17件あり、その都度対応について職員間で協議を行いました。

(5) 教育の充実

- ・年間でWEB研修を12回受講し、職員全員のスキルアップ向上に努めました。

【ユニット型特別養護老人ホーム】

I. 事業所の沿革

- (1) 設置・設備資金借入金 独立行政法人福祉医療機構
令和3年 4月10日～令和4年 3月10日
第93次～第104次借入金元金・利息償還実施 ￥12,326,400
- (2) 令和3年度福岡県ICT導入支援事業補助金
令和4年 3月 1日 ￥ 1,210,000
- (3) 固定資産取得
〈器具及び備品〉
- ・日立洗濯機1台 ヤマダ電機株式会社
令和3年 5月25日取得 ￥ 136,180
 - ・無線介護記録システム機器 (Wi-Fi 工事含む) リコージャパン株式会社
令和4年 1月20日取得 ￥ 1,641,960
- (4) 実習生受け入れ
- ・福岡県立筑水高等学校 3年生2名 令和3年 6月 7日～ 7月 9日 (25日間)
 - ・ " 2年生2名 令和3年11月15日～12月17日 (24日間)
 - ・ " 1年生2名 令和4年 1月17日～ 1月28日 (10間予定)
(新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施3日間)
- (5) 地域との交流
新型コロナウイルス感染症拡大防止により全て中止

Ⅱ. 処 遇

(1) 相談支援について

①収入の確保

・令和3年度の入居率は97%で、入居稼働率は94%でした。月間平均入院数は2人で年間の平均要介護は3.8でした。新入居者は10名でした。

②各種加算

- ・個別機能訓練加算
- ・看護体制加算
- ・褥瘡マネジメント加算（対象者）
- ・口腔衛生管理加算
- ・排泄支援加算
- ・療養食加算（対象者）
- ・科学的介護推進体制加算（新規加算）
- ・安全対策体制加算（新規加算）

(2) 生活支援について

入 浴

・利用者様の体調や希望に沿うように湯温や時間等を配慮して支援を行いました。

食 事

・ユニットごとの炊飯や温め、配膳を行うことでより温かい食事を召し上がって頂いています。食事の内容に対して意見や要望が出された場合は、管理栄養士と連携して随時、もしくは給食会議等で相談・改善を行いました。利用者様が給食以外の食物を希望されることもあり、出前を取ったりお誕生日には好物でお祝いしたりと工夫を凝らし、ユニット毎に特徴のある活動を行いました。その活動の際に利用者様の中には、準備や配膳、後片付けへの参加が定着化している方がいます。他の方が参加される事ではできないと思われていた利用者様が家事活動に参加できた時には、利用者様の残存能力を引き出すことの重要性を実感しました。

(3) 暮らしの継続

・ユニット最大の目標である「暮らしの継続」については、職員全体で意識しています。入院等で基本的な生活のリズムが失われている状況であっても聞き取り項目を設けて、できる限り本来の御本人のライフスタイルに近づけるよう配慮しました。利用者様から相談を受けた場合は、その都度改善に向けた対応を行っています。利用者様同士や職員に対してのトラブル等があった場合は、速やかに対応して終結に努めました。御家族とは面会制限の続く中、来苑された折や電話等で状態の報告や連絡を行い情報の共有に努めました。

(4) 健康管理

・新型コロナウイルス感染症対策として、ユニット内では職員一人一人が感染しないように手指消毒や器具消毒の徹底に努めました。

・医療面においては看護師と連携してより専門的な視点で病状の把握、管理を行いました。嘱託医、受診先の医師への状況報告や投薬の管理、緊急時の対応、健康診断なども含めて把握をし、必要な場合は、御家族への報告を行いました。

・看取りについては、嘱託医よりターミナル期が近づいていることを御家族にお伝えし最期まで施設でと希望された御家族とは寄り添いながらできる限りのケアに当たらせていただきました。御家族と寄り添うことで思いを知り、寄り良い看取りについて沢山考え、学ぶことができました

(5) 機能訓練

・利用者様の重度化に伴い認知症の周辺症状が表出しやすくなっています。脳活性を目標に日々の暮らしの中で計算問題やパズル等身近なものを使いながら取り組むことができました。

(6) 行事・クラブ活動

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出することが難しくなりましたが、ユニット毎に苑内で様々な行事を行いました。利用者様の状態やパーソナリティによって行事の内容も各ユニットでそれぞれ異なります。各ユニットとも会議等において利用者様の満足できる行事やレクリエーションができていのか意見交換しながら創意工夫を凝らしました。

・クラブ活動については各ユニット主催で開催していましたが、今年度はユニット全体で実施することが出来ませんでした。新型コロナウイルス感染の予防を徹底しながら再開を目指していきます。

(7) 職員について

・各ユニットのリーダーが総入れ替えされてから4年が経過しました。個々のユニットカラーが出てきています。ユニットリーダーを中心に利用者様のニーズに応えるため様々な壁に当たりながら職員間で意見を出し合い工夫してより良い生活の場を提供することに努めました。

・各ユニットは、少人数なので利用者様、御家族と職員の関係が近いところが特徴です。各ユニットの雰囲気を大切にしながら職員全体でベクトルを合わせ、計画を立てた目標達成に向けて風通しのよい人間関係の形成に努めています。

Ⅲ. 各ユニットより

(花ユニット)

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で外出行事がほとんど出来ませんでした。そのような中、利用者様に日々の生活に楽しみを持って頂けるように毎月行事の計画を立て、季節感を感じて頂けるように努めました。

また、利用者様の状態観察に努め職員間で情報を共有して過ごしやすい環境づくりに努めました。

(鳥ユニット)

新型コロナウイルス感染が拡大する中で外出等は出来ませんでした。季節の行事等を取り入れて苑内での楽しみを感じてもらえることが出来ました。一人一人のニーズに応じたケアが十分に出来なかったとの反省から今後は多職種との連携を強化して利用者様の満足に繋げていきます。

(風ユニット)

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、外出行事が中々出来ない1年となりました。季節の行事をユニット内で感じて頂ける様に毎月計画を立て実施しました。

また、レクリエーション以外でも利用者様一人一人にあった生活を送って頂ける様に職員がゆとりを持って関わることを心掛け、少しでも心地よく過ごして頂けるような環境づくりに努めました。

(月ユニット)

コロナ禍の中でなかなか外出が出来ませんでした。各行事やレクリエーションについて職員が話し合い考えて苑内での楽しみを味わって頂くことが出来ました。苑の敷地内を散歩したりすることで気分転換を図りリハビリ体操を実施することで筋力低下防止に取り組みました。笑顔が絶えない環境にするため職員間で創意工夫することが出来ました。